



荒 貴賀 議員
(日本共産党
幕別町議員団)



核家族化が進み、共働き家庭が増えている中で、日々の仕事が多忙なため、悩みがあっても行政の相談窓口等を利用できないなど、子育ての不安や困難を抱えている家庭が多い。また、双子・年子を抱えている家庭の悩みはより大きいのが実情である。

現在「病後児保育」が実施されているが、札内地域の青葉保育所のみであり、他の地域でも要望が多い。また、子どもが急病のときの「病児保育」を望む声も多く、対応が必要と考える。

休日出勤・日曜祭日が仕事の職場も多く、「休日保育」も必要とされている。

働きながら安心して子育てできる環境を整備するため、次の点について伺う。

- (1) 「病後児保育」を本町地域でも実施すること。
- (2) 子どもの急病時に対処できるように、医師と連携した「病児保育」の実施の検討を。
- (3) 休日保育の実施を。

問 子育て支援と保育事業の拡充を 答 保育時間の設定について検討していき

- (4) 保護者のニーズに合わせた保育時間の延長を。(朝7時から夜7時まで等)
- (5) 支援員の派遣などによる年子・双子家庭の援助を。

町長 (1)平成22年4月から札内青葉保育所の病後児保育室「ひだまり」で病後児保育を実施しており、利用状況から見ても、認知度が高まってきている。

札内1カ所での実施であるため、他の保育所の児童の保護者からは、通所している保育所での実施の要望も聞いているが、青葉保育所での受入体制に十分余裕もあることから、当面は現行の体制を継続していきたいと考えている。

(2)病児保育は病気の急性期から回復期までを対象としているため、医師の回診や病気の急変時にも対応できることが必須であり、医療機関との連携や医師の確保、施設の整備など多くの課題があることから、実施は難しい。

(3)近年の経済情勢等から、家庭に

おける生活様式の多様化や保護者の就労形態等により、休日保育の要望があることは認識しているが、通常保育においても人材確保が困難な状況にある。加えて、事業の実施に当たっては保育体制や実施場所など多くの課題があることから、現時点で実施は困難である。

(4)現在、町内の5カ所の認可保育所の保育時間は、午前7時30分から午後6時30分までの11時間としており、札内青葉保育所と札内南保育園については、指定管理制度の導入と民営化移行に際して、保育サービスの拡大のため午後7時までの延長保育を実施している。

保育時間の拡大については、保護者懇談会等の機会を通じて利用者ニーズを把握の上、実施方法や職員体制の在り方などを十分研究・検討していきたい。

(5)多子世帯育児への支援として個々の事例の中で必要に応じて、ボランティアの方々による支援や既存の支援団体の紹介などを通し

て多子世帯を含めた育児支援に取り組んできた。
年子や双子の世帯への支援については、家庭の事情等の背景を考えると、現時点で一律のサービスとして制度化することは困難と考えており、引き続き、個々の事例に応じたきめ細かな対応に努めていきたい。

再質問 日曜・祭日に子どもを預ける所がないため、職場が限定されてしまう。働き方が多様な現在、休日保育の必要性は大きくなっており、ニーズに合う政策を求める。

答 休日に預かるということは、新たな職員体制の整備につながり、現状においては難しい。



平成26年度から延長保育を実施している札内南保育園